

J.COMPASS の研究会に参加して

2010年12月18日、京都精華大学でJ.COMPASSの研究会がありました。J.COMPASSは中小企業のCSRの実態を調査してCSRを中小企業の新しい成長へのビジネスモデルにする研究を行っています。2009年夏に結成され今回の研究会で7回目を迎えます。

京都精華大学は京都市左京区岩倉木野町に位置し、北には紅葉でも有名な鞍馬山を望む風光明媚な場所にある。芸術学部、デザイン学部、マンガ学部、人文学部など4学部を擁し、自由自治を学風とし、創造的な精神がキャンパスに漲っている。



京都精華大学ホームページより

(<http://www.kyoto-seika.ac.jp/about/index.php>)

今回は、京都精華大学の服部静枝先生が「老舗企業の研究とCSR」と題して報告されました。日本の老舗といわれる長寿企業の持続的な経営努力とCSR（企業の社会的責任）が求める基準には共通点があるのではないか、日本のCSRの一つの典型として世界に発信できる内容を再評価すべきではないかなど、活発な議論が行われました。北海道や九州にいる会員はやむを得ない事情で欠席されましたが、回数を追うにつれて実りある議論と成果が生まれてきています。

研究会終了後にキャンパス近くの京料理のお店で湯葉料理を堪能しました。湯葉は豆乳を煮沸して表面に出来た膜を掬い取ったもので、元々はお寺の精進料理だったものです。タンパク質や脂肪に富んだ健康食品として、また京料理の貴重な食材として重宝されています。



食事の中では、働き盛りの世代の集まりだけあって食事と健康には関心があり、甘党派と禁欲派の間で論争もありました。人間の欲望は理性だけでは抑制できないものだと考えさせられました。湯葉の手土産を買って師走の京都を後にしました。

